

安全データシート

発行日 2025/10/30

1. 化学品及び会社情報

製品名	6-Propyl-2-thiouracil
製品コード(製造元)	OR11311
製品コード(販売元)	—

供給者
富士フィルム和光純薬株式会社
大阪市中央区道修町三丁目1番2号
電話:06-6203-3741 FAX番号:06-6203-2029

緊急連絡電話番号
試薬営業本部西日本営業部 06-6203-3741 試薬営業本部東日本営業部 03-3270-8571

推奨用途
試験研究用

使用上の制限
推奨用途以外で使用する場合は専門家の判断を仰ぐこと。

2~14章

製造元SDS(翻訳・次頁以降)による。

15. 適用法令

国内法規

毒物及び劇物取締法

—

労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条)

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2)

労働安全衛生法 濃度基準値

物質名	8時間濃度基準値	短時間濃度基準値
該当成分なし	—	—

化学物質排出把握管理促進法
(PRTR法)

—

化学名	CASRN	含量	該当法令
プロピルチオウラシル	51-52-5	100%	安衛法 名称等を通知すべき危険物及び有害物 (法第57条の2)

16. その他の情報

引用文献および参照ホームページ等

供給者および日本法規(毒物及び劇物取締法、労働安全衛生法 法第 57 条の 2、化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法)について本頁に記載します。
製品の詳細については次頁より製造元 SDS を翻訳したものを記載します。

免責事項

和文SDSは、製造元SDSを機械翻訳したものであり、不自然な表現が含まれることがあります。

より正確な情報に関しては製造元の原文SDSをご確認願います。

記載内容は通常の取扱を対象としたものであって他の物質と組み合わせるなど特殊な取扱いをする場合は使用環境に適した安全対策を実施の上ご利用ください。改訂日における最新の情報に基づいて作成されておりますが、すべての情報を網羅しているものではありませんので新たな情報を入手した場合には追加又は訂正されることがあります。また、安全な取扱い等に関する情報提供を目的としておりますので物性値や危険有害性情報などは製品規格書等とは異なりいかなる保証をなすものではありません。全ての製品にはまだ知られていない危険性を有する可能性がありますので取り扱いには十分ご注意ください。

以上



6-プロピル-2-チオウラシル

アポロ・サイエンティフィック

部品番号 : OR11311

バージョン番号: 1.1

安全データシート (REACH (1907/2006) 付属書II - 規則2020/878に準拠)

ケムウォッチ危険警報コード : 2

発行日 : 2022年9月16日

印刷日 : 2023年8月1日

S.REACH.GBR.EN

セクション1 単一物質/混合物および会社/事業体の識別

1.1. 製品識別子

製品名	6-プロピル-2-チオウラシル
化学名	プロピルチオウラシル
同義語	情報なし
化学式	C7H10N2OS
その他の識別方法 識別	情報なし
CAS番号	51-52-5
EC番号	200-103-2

1.2. 単一物質または混合物の特定された関連使用および使用上の制限

特定された関連使用	情報なし
使用上の制限	特に使用上の制限は特定されていない。

1.3. 安全データシートの製造者または供給者の詳細

登録会社名	アポロ・サイエンティフィック
住所	ホワイトフィールド・ロード、ブレッドベリー SK62QR イギリス
電話番号	01614060505
ファックス	0161 406 0506
ウェブサイト	http://www.apolloscientific.co.uk/
メール	sales@apolloscientific.co.uk

1.4. 緊急連絡電話番号

協会 / 組織	情報なし
緊急電話番号 番号	情報なし
その他の緊急 電話番号	情報なし

セクション2 危険有害性の要約

2.1. 物質又は混合物の分類

規則 (EC) 第 規則 (EC) 第 1 272/2008 [CLP] および 改正案 ((1)) に基づく分類	H373 - 特定標的臟器毒性 - 反復ばく露区分2、H302 - 急性毒性（経口）区分4、H351 - 発がん性区分2
--	--

凡例:

1. Chemwatchによる分類: 2. 規則 (EU) No 1272/2008 - 付録VIに基づく分類

2.2. ラベル要素

危険給表示		
注意喚起語	警告	

危険有害性情報

H373	長期又は反復暴露による臓器の障害のおそれ。
H302	飲み込むと有害。
H351	発がんのおそれの疑い。

補足情報

非該当

予防措置予防

P201	使用前に取扱説明書を入手すること
P260	粉塵・煙を吸い込まないでください。
P280	保護手袋、保護衣を着用すること。
P264	取り扱い後は、身体の露出部分をすべて十分に洗浄すること。
P270	この製品を使用するとき、飲食または喫煙をしないこと

予防措置

P308+P313	ばく露、もしくはその恐れがある場合: 医師の治療を受けること
P314	気分がすぐれない場合、医師の診察を受けること
P301+P312	飲み込み、気分がすぐれない場合、毒物管理センターまたは医師に連絡すること
P330	口をすぐすこと

予防措置 保管

P405	施錠して保管すること
------	------------

P501

P501	内容物/容器は、地域の規制に従って、認可された有害廃棄物または特別廃棄物収集場所に廃棄してください。
------	--

2.3. ほかの危険有害性

REACH - 第57条から第59条: 本混合物は、安全データシート (SDS) 印刷日時点での懸念単一物質 (SVHC) を含まない。

セクション3 組成及び成分情報**3.1. 単一物質**

1.CAS番号 2.EC番号 3.索引番号 4.REACH番号	重量%	名称	規制 (EC) による分類 1272/2008 [CLP] および改正	SCL / M係数	ナノフォーム粒子 特性
情報なし	100	6-プロピル- 2-チオウラシル	非該当	なし 該当	情報なし

凡例: 1. Chemwatchによる分類 2. 規則 (EU) No 1272/2008 - 付録VIに基づく分類 3. C&Lに基づく分類 *EU IOELVs

利用可能: [e] 内分泌か乱特性を持つと特定された単一物質

3.2.混合物

3.1項の「成分に関する情報」を参照

セクション 4 応急措置

4.1. 応急措置の説明

目に入った場合	本品が目に入った場合: ▶ 直ちに水で洗い流してください。 ▶ 刺激が続く場合は、医師の診察を受けてください。 ▶ 眼の負傷後のコンタクトレンズの除去は、熟練した担当者によってのみ行われるべきです。
皮膚に付着した場合	皮膚や毛髪に付着した場合: ▶ 流水（可能であれば石鹼も使用）で皮膚と毛髪を洗い流してください。 ▶ 刺激性がある場合は医師の診察を受けてください。
吸入	▶ 煙、エアゾール、燃焼生成物を吸入した場合は、汚染区域から退避させてください。 ▶ 通常、その他の措置は不要である。
飲み込んだ場合	▶ 直ちにコップ一杯の水を飲ませてください。 ▶ 通常、応急処置は必要ありません。疑わしい場合は、毒物情報センターまたは医師に連絡してください。

4.2 急性および遅発性の最も重要な症状および影響

第11項を参照

4.3. 必要な緊急医療処置および特別な治療

症状に応じて治療する。

セクション 5 消火措置

5.1. 消火剤

- ▶ 泡消火剤。
- ▶ 粉末消火剤。
- ▶ BCF（規制が許可する場合）。
- ▶ 炭酸ガス。
- ▶ 水のスプレーもしくは噴霧 - 大規模火災のみ。

5.2. 基材または混合物に起因する特殊な危険性

燃焼不適合性	特記すべきものはない
--------	------------

5.3. 消防隊への助言

消防	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 消防隊に警報を発し、危険物の位置と性質を伝える。 ▶ 呼吸用保護具及び保護手袋を着用すること。 ▶ あらゆる手段を用いて、流出物が排水溝や水路に流入するのを防止すること。 ▶ 微細な噴霧状の水を使用し、火災を制御し、周辺区域を冷却すること。 ▶ 高温が疑われる容器には絶対に近づかないでください。 ▶ 安全な場所から、水噴霧で露出容器を冷却する。 ▶ 安全が確認できる場合は、容器を火の進行方向から移動させる。 ▶ 機器は使用後は完全に除染すること。
火災・爆発の危険性	可燃性物質。引火すると燃焼する。

第6節 漏出時の措置

6.1. 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

セクション8を参照

6.2. 環境に対する注意事項

第12項を参照

6.3. 漏出物の封じ込め及び浄化の方法及び機材

軽微な漏出物	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 漏出物は直ちに清掃してください。 ▶ 皮膚および眼との接触を避ける。 ▶ 不浸透性手袋と安全眼鏡を着用してください。 ▶ 乾式清掃手順を使用し、粉じんを発生させないこと ▶ 吸引して除去してください。（保管時および使用時に接地されるように設計された防爆仕様の機械の使用を検討してください） ▶ 清掃にエアホースを使用しないでください。 ▶ こぼれた物質を清潔で乾燥した密封可能な容器に入れ、ラベルを貼る。
--------	--

大量漏出物時	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 人員を避難させ、風上へ移動する。 ▶ 消防隊に警報を発し、危険物の位置と性質を伝える。 ▶ 防護具及び防塵マスクを使用して、単一物質との接触を制限する。 ▶ こぼれた物質が排水溝、下水道、水路に流入するのを防止する。 ▶ 粉じんを発生させないこと。 ▶ 掫き集め、シャベルで回収する。可能な限り製品を回収する。 ▶ 残留物は、廃棄用にラベルを貼ったボリ袋またはその他の容器に入れる。 ▶ 排水溝や水路が汚染された場合は、緊急対応機関に連絡してください。
---------------	---

6.4. 他の項目の参照

保護具に関する助言は、SDSの第8項に含みます。

セクション7 取扱い及び保管上の注意

7.1. 安全な取扱いに関する注意事項

安全な取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 不必要な身体接触を制限すること。 ▶ 暴露の危険がある場合は保護服を着用すること。 ▶ 換気の良い場所で使用すること。 ▶ 混触禁止物質との接触を避ける。 ▶ 取扱い中は飲食・喫煙をしないこと。 ▶ 使用しない時は容器を確実に密閉すること。 ▶ 容器の物理的損傷を避ける。 ▶ 使用後は必ずせっけんと水で洗浄してください。 ▶ 作業服は他の衣類と分けて洗濯すること。 ▶ 適切な作業慣行を使用してください。 ▶ 本SDSに含む製造者の取扱い及び保管上の注意を遵守してください。 ▶ 安全な作業環境を維持するため、確立された暴露基準に対して定期的に大気をチェックすること。
火災および爆発 防火・爆発防止	第5項を参照
その他の情報	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 元の容器に保管すること。 ▶ 容器は確実に密閉してください。 ▶ 極端な環境から保護された、涼しく乾燥した場所に保管すること。 ▶ 混触禁止物質や食品容器から離して保管してください。 ▶ 容器を物理的損傷から保護し、定期的に漏れを確認してください。 ▶ 本SDSに含まれる製造者の保管及び取扱いに関する推奨事項を遵守してください。 <p>大量の場合:</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 貯留槽付き区域での保管を検討すること - 貯蔵区域が地域の水源（雨水、地下水、湖、河川を含む）。 ▶ 大気または水域への偶発的な排出が、緊急災害管理計画の対象となることを確保すること。これには地方自治体との協議が必要となる場合がある。

7.2. 安全な保管条件（不適合物質を含む）

ポリライナードラム。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 内張り付き金属缶、内張り付き金属バケツ/缶。 ▶ プラスチック製ペール。 ▶ ポリライナードラム。 ▶ 製造者の推奨する包装。 ▶ すべての容器に明確なラベルが貼られており、漏れがないことを確認してください。
保管上の不適合性	水、食品、飼料、種子の汚染を避けること。 なし
危険物分類 に基づく危険物区分 規則 (EC) No 1272/2008	情報なし
適格数量 (トン) の危険 物質の 第3条(10)項に規定される 適用	情報なし

7.3. 特定の最終使用

セクション1.2を参照

セクション 8 ばく露防止及び保護措置

8.1. 規制パラメータ

成分	DNEL 暴露パターン労働者	PNECs コンパートメント
情報なし	情報なし	情報なし

* 一般集団の値

職業ばく露限界値 (OEL)

成分データ

出典	成分	材料名	TWA	STEL	ピーク	備考
情報なし						

非該当

緊急制限

成分	TEEL-1	TEEL-2	TEEL-3
6-プロピル-2-チオウラシル	情報なし	情報なし	情報なし

成分

成分	元のIDLH	改訂IDLH
6-プロピル-2-チオウラシル	情報なし	情報なし

8.2. 暴露管理

設備対策は、危険を除去するか、作業者と危険の間に障壁を設けるために使用される。適切に設計された

設備対策は労働者を保護する上で非常に効果的であり、通常は労働者の操作とは独立して

この高いレベルの保護を提供します。

設備対策の塩基性の種類は以下の通りである：

プロセス管理：作業活動やプロセスの実施方法自体を変更しリスクを低減する手法。

排出源の問い合わせ／または隔離：選定された危険を労働者から「物理的に」遠ざけ、換気を行う。

作業環境において戦略的に空気を「取り込む」と「排出する」ものである。換気システムは適切に設計されれば、空気中の汚染物質を除去または希釈できる。換気システムの設計は、特定の工程と使用される化学物質または汚染物質に適合していかなければならない。

適切に設計されれば、空気中の汚染物質を除去または希釈できる。換気システムの設計は、特定のプロセスおよび使用される化学物質や汚染物質に適合しなければならない。

従業員の過剰曝露を防ぐため、事業主は複数の管理手法を併用する必要があり、これらの管理手法を適切に使用しなければならない。

▶ 固体や粉末や結晶として取扱う場所では、局所排気換気が必要である。粒子状物質が比較的少ない場合でも同様である。

大量の場合、一定の割合が相互摩擦によって粉末化される。

▶ 排気換気は、作業場における微粒子の蓄積と再循環を防ぐように設計すべきである。

▶ 局所排気装置を設置しても空気中の有害濃度が生じる可能性がある場合は、呼吸器の保護具の使用を検討すべきである。

検討すべきである。そのような保護具としては以下が挙げられる：

(a): 必要に応じて吸収カートリッジを併用した粉塵用呼吸用保護具；

(b): 適切なタイプの吸収カートリッジまたはキャニスターを備えたフィルター式呼吸用保護具；

(c): フレッシュエアードまたはマスク

▶ 粉塵粒子への静電気の蓄積は、ボンディングおよび接地によって防止できる。

▶ 集塵機、乾燥機、粉碎機などの粉体取扱い設備には、

爆発ペント装置。

作業場で発生する空気汚染物質は、さまざまな「逃亡」速度を持ち、それが汚染物質を効率的に除去するために必要な新鮮な循環空気の「捕捉速度」を決定します。

速度」を決定する。

8.2.1. 適切な設備対策

設備対策

汚染物質の種類：

直接噴射、浅型ブース内のスプレー塗装、ドラム充填、コンベア積載、粉碎機粉塵、ガス
排出（高速気流領域への能動的発生）

空気速度：

1-2.5 m/s (200-500 ft/min)

粉碎、研磨ブラスト、タンブリング、高速ホイール発生粉塵（非常に高速な気流領域で高い初期速度で放出される）
速度で放出される）

2.5-10 m/s
(500-2000 ft/min)

各範囲内で適切な値は以下に依存する：

範囲の下限	範囲の上限
1: 室内の気流は最小限、または捕獲有利	1: 室内の気流を乱す
2: 毒性が低い、または迷惑なだけの汚染物質	2: 高毒性汚染物質
3: 生産が断続的で少量である。	3: 高発生量、高使用頻度
4: 大型フードまたは大気流の移動	4: 小型フードによる局所制御のみ

単純な理論によれば、単純な排気管の開口部から離れるにつれて空気速度は急速に低下する。速度

一般的に、排気口からの距離の二乗に反比例して減少する（単純な場合）。したがって、排気口での空気速度は、汚染源からの距離を考慮した上で、それに応じて調整すべきである。

汚染源からの距離を考慮した上で、それに応じて調整すべきである。例えば、排気ファンにおける空気速度は、粉碎粉塵の排気には最低4-10 m/s (800-2000 ft/min) とすべきである。

例えば、粉碎機で発生する粉塵を吸引する場合、吸引ファンの空気速度は最低4-10 m/s (800-2000 ft/min) であるべきです。

抽出点から数メートル離れた位置。その他の機械的要因により、抽出プロセス内で性能低下が生じる

	<p>装置では、排気システムを設置または使用する際、理論上の空気速度に10倍以上の係数を乗じる必要がある。 設置または使用する際には、理論上の空気速度を10倍以上の係数で乗算</p>
8.2.2. 個人用保護 (例: 個人用保護具 個人用保護具)	 <ul style="list-style-type: none"> サイドシールド付き安全メガネ 化学防護ゴーグル [AS/NZS 1337.1、EN166 または各国相当規格] コンタクトレンズは特別な危険をもたらす可能性がある。ソフトコンタクトレンズは刺激物を吸収・濃縮する恐れがある。レンズの装着や使用制限に関する文書化された方針を各職場または作業ごとに作成すべきである。 <p>各職場または作業ごとに、レンズの着用または使用上の制限に関する文書を作成すべきである。これには使用化学物質の分類に応じたレンズの吸収・吸着に関する検討と、傷害事例の記録を含めること。</p> <p>医療従事者および救急要員は、コンタクトレンズの除去方法について訓練を受けるべきであり、適切な除去器具はすぐに使用できる状態で用意しておく必要がある。</p> <p>化学物質に曝露した場合は、直ちに眼の洗浄を開始し、可能な限り速やかにコンタクトレンズを外すこと。レンズは目の充血や刺激の最初の兆候が見られた時点で除去すること</p> <p>レンズは、作業員が手を十分に洗った後、清潔な環境でのみ除去すべきである</p> <p>手を十分に洗浄した後、清潔な環境でのみレンズを外すこと。[CDC NIOSH Current Intelligence Bulletin 59]</p>
眼と顔の保護具	<p>下記の手の保護具を参照</p>
皮膚保護	<p>適切な手袋の選択は、素材だけでなく、製造元によって異なるその他の品質基準にも依存します 製造者から製造者へ。化学物質が複数の単一物質からなる調剤である場合、手袋素材の耐性は事前に計算することはできず、使用前に必ず確認する必要があります。</p> <p>単一物質の正確な浸透時間は、保護手袋の製造者から入手し、最終選択時にはこれを遵守する必要があります。</p> <p>効果的な手ケアにおいて、個人衛生は重要な要素です。手袋は清潔な手にのみ着用してください。手袋使用後は、手を十分に洗い、乾かしてください。無香料の保湿剤の使用が推奨されます。</p> <p>手袋の適性と耐久性は使用状況に依存します。手袋選定における重要な要素は以下の通りです：</p> <ul style="list-style-type: none"> 接触頻度と持続時間、 手袋素材の耐薬品性、 手袋の厚さと 操作性 <p>関連規格（例：欧州 EN 374、米国 F739、AS/NZS 2161.1 または国内相当規格）に基づき試験済みの手袋を選択すること。</p> <p>・長時間の接触や頻繁な反復接触が想定される場合、保護等級5以上（浸透時間 EN 374、AS/NZS 2161.10.1 または同等の国内規格に基づき、240分を超える保護性能を有する手袋の使用が推奨されます。</p> <p>・短時間の接触のみが予想される場合、保護クラス3以上（EN 374、AS/NZS 2161.10.1または同等の国内規格に基づく浸透時間が60分を超える）の手袋の使用が推奨されます。</p> <p>EN 374、AS/NZS 2161.10.1 または各国相当規格に基づく）が推奨されます。</p> <p>・一部のグローブ用ポリマーは動きの影響を受けにくいため、グローブを長期使用時の手袋選定において考慮すべき点である。</p> <p>・汚染された手袋は交換すべきである。</p> <p>ASTM F-739-96で定義される通り、あらゆる用途において手袋は以下のように評価される：</p> <ul style="list-style-type: none"> 突破時間が480分を超える場合に優れている 突破時間が20分を超える場合に良好 突破時間が20分未満の場合：普通 手袋素材が劣化する場合：不良 <p>一般的な用途では、通常 0.35 mm 以上の厚さの手袋の使用が推奨されます。</p> <p>強調すべきは、手袋の厚さが必ずしも特定の化学物質に対する手袋の耐性を予測する良い指標ではないという点である。なぜなら、手袋の浸透率は手袋素材の正確な組成に依存するためである。したがって、手袋の選定は作業要件の考慮と浸透時間の知識に基づくべきである。</p> <p>手袋の厚みは、手袋製造者、手袋の種類、手袋のモデルによっても異なる場合があります。したがって、作業に最適な手袋を選択するためには、常に製造者の技術データを参照する必要があります。</p> <p>注：実施する作業内容によっては、特定の作業に異なる厚さの手袋が必要となる場合があります。例：</p> <ul style="list-style-type: none"> 高い手先の器用さが求められる場合、より薄い手袋（0.1mm以下）が必要となることがある。ただし、これらの手袋は短時間の保護しか期待できず、通常は単回使用用途に限定され、その後廃棄される。 機械的（化学的リスクに加え）危険が存在する場所、すなわち摩耗や穿孔の危険性がある場合 <p>手袋は清潔な手のみ着用してください。使用後は手をよく洗い、十分に乾かしてください。</p> <p>無香料の保湿剤の使用が推奨されます。</p> <p>経験上、以下のポリマーは、未溶解の乾燥固体、研磨粒子を含まない物質からの保護用手袋材料として適していることが示されている。</p> <p>研磨性粒子が存在しない場合。</p> <ul style="list-style-type: none"> ポリクロロブレン。 ニトリルゴム。 ブチルゴム。 フッ素ゴム。 ポリ塩化ビニル。 <p>手袋は、摩耗や劣化がないか常に点検してください。</p>
身体の保護	<p>以下の「その他の保護」を参照してください。</p>
その他の保護具	<p>少量を取り扱う場合、特別な器具は必要ありません。</p> <p>それ以外の場合は：</p> <ul style="list-style-type: none"> 作業服。 バリアクリーム。 洗眼器。

呼吸器の保護具

十分な容量のタイプ P フィルター。(AS/NZS 1716 および 1715、EN 143:2000 および 149:2001、ANSI Z88 または同等の国内規格)

必要な最小保護係数	ハーフフェイス型呼吸用保護具	全面マスク	電動式空気呼吸器
最大10 x ES	P1 エアライン*	- -	PAPR-P1 -
最大50個 x ES	エアライン**	P2	PAPR-P2
最大100個 x ES	-	P3	-
100+ x ES	-	エアライン*	PAPR-P3

* - 領圧要求 ** - 連続流量

A(全クラス) = 有機蒸気、B AUS または B1 = 酸性ガス、B2 = 酸性ガスまたはシアン化水素(HCN)、B3 = 酸性ガスまたはシアン化水素(HCN)、E = 硫黄

二酸化硫黄(SO2)、G = 農薬、K = アンモニア(NH3)、Hg = 水銀、NO = 室素酸化物、MB = メチルブロミド、AX = 低沸点有機化合物

化合物 (65°C未満)

・技術的・管理的対策で曝露を十分に防止できない場合、呼吸用保護具が必要となることがある。

・呼吸器の保護具の使用判断は、毒性情報、暴露測定データなどを考慮した専門的判断に基づくべきである。

作業員の曝露頻度と可能性 - 使用者が高熱負荷にさらされないよう確保すること。これにより、以下に起因する熱ストレスや熱障害が生じる可能性がある。

保護具（活動式、正压式、フルフェイス装置が選択肢となり得る）

・公表されている職業ばく露限界（存在する場合）は、選定した呼吸器の保護具の適切性を判断する上で有用である。これらは

政府が義務付けたもの、またはベンダーが推奨するものとなる。

・認定された呼吸用保護具は、適切な選択とフィットテストを実施した上で、包括的な呼吸保護プログラムの一環として使用される場合、作業者が粒子状物質を吸収するのを防ぐのに有用である。

保護プログラムの一環として適切に選択され、フィットテストが実施された場合に

・粉塵の軽度なレベルからの保護が必要な場合は、米国規格N95または欧州規格P1（EN143）の防塵マスクを使用してください。呼吸用保護具およびその構成部品は、NIOSH（米国）やCEN（欧州連合）などの適切な政府基準に基づき試験されNIOSH（米国）やCEN（EU）などの適切な政府基準に基づき試験・承認された呼吸用保護具および部品を使用してください。

・粉塵が大量に空気中に浮遊する場合は、承認済みの陽圧式マスクを使用すること。

・粉じんを形成させないよう努めてください。

8.2.3. 環境暴露管理

セクション12を参照

セクション 9 物理的及び化学的性質

9.1. 塩基性の物理的及び化学的性質に関する情報

性状	白色		
物理状態	固体	相対密度 (水=1)	情報なし
臭い	情報なし	分配係数 n-オクタノール/水	情報なし
臭い閾値	情報なし	自然発火点 (°C)	情報なし
pH (供給時)	情報なし	分解 温度 (°C)	情報なし
融点/凝固点 点 (°C)	218-220	粘度 (cSt)	情報なし
初沸点および 沸騰範囲 (°C)	情報なし	分子量 (g/mol)	情報なし
引火点 (°C)	300	味	情報なし
蒸発速度	情報なし	爆発特性	情報なし
可燃性	非該当	酸化性	情報なし
爆発上限 (%)	情報なし	表面張力 (dyn/cm または mN/m)	非該当
下限爆発限界 (%)	情報なし	揮発性成分 (体積%)	情報なし
蒸気圧 (kPa)	情報なし	ガスグループ	情報なし
水への溶解度	部分混和性	溶液としてのpH (1%)	情報なし
相対ガス密度 (空気=1)	情報なし	揮発性有機化合物 物 g/L ナノフォーム粒子 特性	情報なし
ナノフォームの溶解度	情報なし		情報なし

続き...

粒子サイズ

情報なし

9.2. その他の情報

情報なし

セクション 10 安定性及び反応性

10.1. 反応性	セクション7.2を参照
10.2. 化学的安定性	製品は安定しているとみなされ、危険な重合は発生しません。
10.3. 危険反応の可能性 危険有害反応の可能性	セクション7.2を参照
10.4. 避けるべき条件	セクション7.2を参照
10.5. 非互換 材料	セクション7.2を参照
10.6. 危険 分解生成物	5.3項参照

セクション 11 有害性情報

11.1. 規則 (EC) No 1272/2008 で定義される危険有害性クラスに関する情報 有害性情報

吸入	この物質は、EC 指令による分類では、健康への悪影響や気道への刺激を引き起こすとは考えられていません。 動物モデルを用いた研究）。しかしながら、適切な衛生管理においては、曝露を最小限に抑え、適切な管理措置を職場環境で講じることが求められる。 対策は職務において使用される。	
飲み込んだ場合	本物質は、EC指令その他の分類システムにおいて「飲み込んだ場合による有害性」を有すると分類されていません。これは、 裏付けとなる動物またはヒトの証拠が不足しているためである。	
皮膚に付着した場合	当該物質は、接触後の健康被害や皮膚刺激性ありを引き起こすとは考えられていない（EC指令による動物モデル分類に基づく）。 ）。ただし、適切な衛生管理のため、曝露は最小限に抑え、適切な手袋を使用することが求められる。	
眼	本物質は刺激性物質ではないと考えられる（EC指令による分類）。ただし、眼への直接接触は一時的な不快感、涙や結膜の充血（風焼けなど）を特徴とする。軽度の擦過損傷が生じる場合もある。	
慢性	本製品への長期暴露は、健康に有害な慢性影響を生じないものと考えられる（EC指令による動物モデル分類に基づく）。 ）による動物モデル分類に基づく分類による健康への慢性的な悪影響を引き起こすとは考えられていません。ただし、あらゆる経路による曝露は当然のことながら最小限に抑えるべきです。	
6-プロピル-2-チオウラシル	毒性	刺激性
	経口（ラット）LD50 : 1250 mg/kg ^[2]	情報なし
凡例:	欧洲ECHA登録物質から得られた値 - 急性毒性2. 製造者の安全データシート (SDS) から得られた値。 特に指定の限り、RTECS (化学物質の毒性効果登録簿) から抽出されたデータ	

急性毒性	✓	発がん性	✓
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	✗	生殖毒性	✗
重篤な眼 損傷/刺激	✗	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	✗
呼吸器または皮膚 感作性	✗	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	✓
変異原性	✗	誤えん有害性	✗

凡例:

✗ – データが入手不可能、または分類基準を満たさない
✓ – 分類に必要なデータが利用可能

11.2 ほかの危険有害性に関する情報

11.2.1 内分泌かく乱特性

現在の文献において、内分泌かく乱特性の証拠は確認されていない。

11.2.2. その他の情報

セクション11.1を参照

セクション12 環境影響情報

続く...

12.1. 毒性

6-プロピル-2-チオウラシル	エンドポイント	試験期間(時間)	種	値	出典	
	BCF	672時間				
	NOEC(ECx)	6h				
凡例:		1. IUCLID毒性データ 2. 欧州ECHA登録物質 - 生態毒性情報 - 水生毒性 4. 米国環境保護庁 (EPA)、Ecotox データベース - 水生毒性データ 5. ECETOC水生有害性評価データ 6. 独立行政法人産業技術総合研究所 (NITE) - 生物濃縮データ 7. 経済産業省 (日本) - 生物濃縮データ 8. ペンダーデータ				

12.2. 残留性と分解性

成分	残留性: 水/土壤	残留性: 空気
	全成分についてデータなし	全成分についてデータなし

12.3. 濃縮倍率

成分	生物蓄積性
	すべての成分についてデータなし

12.4. 土壤中の移動性

成分	移動性
	全成分についてデータなし

12.5. PBT および vPvB 評価の結果

	P	B	T
入手可能な関連データ	情報なし	情報なし	情報なし
PBT	✗	✗	✗
vPvB	✗	✗	✗
PBT基準を満たす?			いいえ
vPvB			いいえ

12.6. 内分泌かく乱特性

現在の文献では内分泌かく乱特性の証拠は認められなかった。

12.7. その他の副作用

現在の文献では、オゾン層破壊作用の証拠は見つかっていない。

セクション 13 廃棄上の注意

13.1. 廃棄物処理方法

製品・梱包の廃棄	<ul style="list-style-type: none"> 可能な限りリサイクルしてください。 リサイクル方法については製造者にお問い合わせいただくか、適切な処理・処分施設がない場合は、地方自治体または地域の廃棄物管理当局に処分方法をご相談ください。 処理・廃棄施設が特定できない場合は、地方自治体または地域の廃棄物管理機関に相談してください。 化学廃棄物および/または医薬品廃棄物の受け入れを特別に認可された埋立処分場での埋立処分、または認可された焼却装置での焼却処分（適切な可燃性物質と混合後）によって処分してください。 認可された装置による焼却（適切な可燃性物質と混合した後） 空容器を脱汚染する。容器が洗浄・廃棄されるまで、ラベルに記載されたすべての安全対策を守る。
廃棄物処理方法	情報なし
汚水処理方法	情報なし

セクション14 輸送上の注意

ラベルの必要性

海洋汚染物質	該当なし
HAZCHEM	非該当

陸上輸送 (ADR) : 危険物の輸送は規制されていない

14.1. 国連番号またはID番号	非該当	
14.2. 国連指定容器名	非該当	
14.3. 輸送上の危険性クラス	クラス	非該当
	補助危険	非該当
14.4. 容器等級	非該当	
14.5. 環境危険	非該当	
14.6. 特別な注意事項 ユーザー向け	危険有害性の要約 (ケムラー)	非該当
	分類コード	非該当
	危険表示	非該当
	特別規定	非該当
	数量制限	非該当
	トンネル規制コード	非該当

航空輸送 (ICAO-IATA(航空) / DGR) : 危険物の輸送は規制されていない

14.1. 国連番号	非該当	
14.2. UN 正式輸送名 名称	非該当	
14.3. 輸送上の危険性 クラス	ICAO/IATA クラス	非該当
	ICAO / IATA サブリスク	非該当
	ERG コード	非該当
14.4. 容器等級	非該当	
14.5. 環境 危険性	非該当	
14.6. 特別な注意事項 ユーザー向け	特別規定	非該当
	貨物のみ梱包指示	非該当
	貨物のみ最大数量/梱包	非該当
	旅客および貨物用梱包指示	非該当
	旅客・貨物 最大数量/梱包	非該当
	旅客・貨物 数量制限付き梱包指示	非該当
	旅客および貨物用 1パッケージあたりの最大数量	非該当

海上輸送 (IMDG(海上) / GGVSee) : 危険物の輸送が規制されていない

14.1. 国連番号	非該当	
14.2. UN 正式輸送名 名称	非該当	
14.3. 輸送上の危険 クラス	IMDG(海上) クラス	非該当
	IMDG(海上) サブリスク	非該当
14.4. 容器等級	非該当	
14.5. 環境 危険性	非該当	
14.6. 特別な注意事項 ユーザー向け	EMS番号	非該当
	特別規定	非該当
	限定数量	非該当

内陸水路輸送 (ADN(国際航空運送協会)) : 危険物の輸送については規制されていない

14.1. 国連番号	非該当	
14.2. UN 正式輸送名 名称	非該当	
14.3. 輸送上の危険性 クラス	非該当	非該当
14.4. 容器等級	非該当	
14.5. 環境 危険	非該当	
14.6. 特別な注意事項 ユーザー向け	分類コード 特別規定 限定数量 必要な装備 防火コーンの数	非該当 非該当 非該当 非該当 非該当

14.7. IMO文書に基づく海上輸送（バルク輸送）

14.7.1. MARPOL附属書II及びIBCコードに基づくバルク輸送

非該当

14.7.2. MARPOL附属書V及びIMSBCコードに基づくバルク輸送

製品名	グループ
-----	------

14.7.3. IGCコードに基づくバルク輸送

製品名	船舶の種類
-----	-------

セクション 15 適用法令

15.1. 単一物質または混合物に固有の安全、健康および環境に関する規制／法令

本安全データシートは、該当する範囲において、以下のEU法令及びその改正に準拠しています：指令98/24/EC、- 92/85/EEC、- 94/33/EC
- 2008/98/EC、- 2010/75/EU、欧州委員会規則 (EU) 2020/878、改正 (ATP) を経た規則 (EC) No 1272/2008。

2012/18/EU（セヴェゾーIII）に基づく情報：

セヴェゾ分類	情報なし
--------	------

15.2. 化学物質安全性評価

詳細については、入手可能な場合、サプライチェーンが作成した化学物質安全性評価および暴露シナリオをご参照ください。

ECHAサマリー

非該当

国内インベントリ状況

国内インベントリ	ステータス
オーストラリア - AIIC / オーストラリア 非工業使用	情報なし
カナダ - DSL	情報なし
カナダ - NDSL	情報なし
中国 - IECSC	情報なし
ヨーロッパ - EINECS/ELINCS / NLP	情報なし
日本 - 化審法官報公示番 号	情報なし
韓国 - KECI ニュージーランド - NZIoC	情報なし
フィリピン - PICCS	情報なし
アメリカ - TSCA	情報なし
台湾 - TCSI	情報なし
メキシコ - INSQ	情報なし

国家インベントリ	ステータス
ベトナム - NCI	情報なし
ロシア - FBEPH	情報なし
例: はい = CAS登録済みの全成分がインベントリに記載されている いいえ = 記載されたCAS番号の成分のうち、1つ以上が在庫リストに存在しません。これらの成分は免除対象であるか、登録が必要となります。 登録が必要となる場合があります。	

セクション16 その他の情報

改訂日	2022年9月16日
初回日付	2022年9月16日

全文リスク及びハザードコード

その他の情報

本製剤および個々の成分の分類は、公式かつ権威ある情報源に加え、Chemwatch分類委員会による利用可能な文献参照を用いた独立した審査に基づいています。

分類委員会による利用可能な文献参照を使用した独立した審査に基づいています。

安全データシート (SDS) は危険有害性情報伝達ツールであり、リスク評価を支援するために使用すべきである。報告された危険有害性が職場その他の環境においてリスクとなるか否かは、多くの要因によって決定される。リスクは曝露シナリオを参照して特定される場合がある。使用規模、使用頻度、および現在

職場やその他の環境において危険性がリスクとなるか否かは、曝露シナリオを参照して判断される場合があります。使用規模、使用頻度、および現行または利用可能な設備対策が考慮されなければならない。

保護具に関する詳細な助言については、以下のEU CEN規格を参照のこと：

EN 166 個人用眼の保護具

EN 340 防護服

EN 374 化学物質及び微生物に対する保護手袋

EN 13832 化学物質に対する保護靴

EN 133 呼吸器の保護具

定義と略語

PC – TWA: 許容濃度 – 時間加重平均

PC – STEL: 許容濃度 – 短時間ばく露限界

IARC: 国際がん研究機関

ACGIH: 米国産業衛生専門家会議

STEL: 短時間ばく露限界

TEEL: 一時的緊急ばく露限界

IDLH: 生命または健康に直ちに危険な濃度

ES: 暴露基準

OSF: 臭い安全係数

NOAEL: 無有害影響量

LOAEL: 最低有害影響量

TLV: 許容濃度値

LOD: 検出限界

OTV: 臭い閾値

BCF: 生物濃縮係数

BEI: 生物学的曝露指數

AIIC: オーストラリア工業化学物質インベントリ

DSL: 国内単一物質リスト

NDSL: 非国内単一物質リスト

IECSC: 中国既存化学単一物質インベントリ

EINECS: 欧州既存商業化学単一物質インベントリ

ELINCS: 欧州届出化学物質リスト

NLP: 非高分子

化審法官報公示番号: 既存及び新規単一物質インベントリ

KECI: 韓国既存化学物質インベントリ

NZIoC: ニュージーランド化学物質インベントリ

PICCS: フィリピン化学物質インベントリ

TSCA: 有害物質規制法

TCSI: 台湾化学物質インベントリ

INSQ: Inventario Nacional de Sustancias Químicas

NCI: National Chemical Inventory

FBEPH: ロシア潜在危険化学物質・生物質登録簿



6-Propyl-2-thiouracil

Apollo Scientific

Chemwatch Hazard Alert Code: 2

Part Number: OR11311

Issue Date: 16/09/2022

Version No: 1.1

Print Date: 01/08/2023

Safety Data Sheet (Conforms to Annex II of REACH (1907/2006) - Regulation 2020/878)

S.REACH.GBR.EN

SECTION 1 Identification of the substance / mixture and of the company / undertaking

1.1. Product Identifier

Product name	6-Propyl-2-thiouracil
Chemical Name	propylthiouracil
Synonyms	Not Available
Chemical formula	C7H10N2OS
Other means of identification	Not Available
CAS number	51-52-5
EC number	200-103-2

1.2. Relevant identified uses of the substance or mixture and uses advised against

Relevant identified uses	Not Available
Uses advised against	No specific uses advised against are identified.

1.3. Details of the manufacturer or supplier of the safety data sheet

Registered company name	Apollo Scientific
Address	Whitefield Road, Bredbury SK62QR United Kingdom
Telephone	01614060505
Fax	0161 406 0506
Website	http://www.apolloscientific.co.uk/
Email	sales@apolloscientific.co.uk

1.4. Emergency telephone number

Association / Organisation	Not Available
Emergency telephone numbers	Not Available
Other emergency telephone numbers	Not Available

SECTION 2 Hazards identification

2.1. Classification of the substance or mixture

Classification according to regulation (EC) No 1272/2008 [CLP] and amendments [1]	H373 - Specific Target Organ Toxicity - Repeated Exposure Category 2, H302 - Acute Toxicity (Oral) Category 4, H351 - Carcinogenicity Category 2
---	--

Legend: 1. Classified by Chemwatch; 2. Classification drawn from Regulation (EU) No 1272/2008 - Annex VI

2.2. Label elements

Hazard pictogram(s)	
Signal word	Warning

Hazard statement(s)

H373	May cause damage to organs through prolonged or repeated exposure.
H302	Harmful if swallowed.
H351	Suspected of causing cancer.

Supplementary statement(s)

Not Applicable

Precautionary statement(s) Prevention

P201	Obtain special instructions before use.
P260	Do not breathe dust/fume.
P280	Wear protective gloves and protective clothing.
P264	Wash all exposed external body areas thoroughly after handling.
P270	Do not eat, drink or smoke when using this product.

Precautionary statement(s) Response

P308+P313	IF exposed or concerned: Get medical advice/ attention.
P314	Get medical advice/attention if you feel unwell.
P301+P312	IF SWALLOWED: Call a POISON CENTER/doctor/physician/first aider if you feel unwell.
P330	Rinse mouth.

Precautionary statement(s) Storage

P405	Store locked up.
------	------------------

Precautionary statement(s) Disposal

P501	Dispose of contents/container to authorised hazardous or special waste collection point in accordance with any local regulation.
------	--

2.3. Other hazards

REACH - Art.57-59: The mixture does not contain Substances of Very High Concern (SVHC) at the SDS print date.

SECTION 3 Composition / information on ingredients

3.1. Substances

1. CAS No 2. EC No 3. Index No 4. REACH No	%[weight]	Name	Classification according to regulation (EC) No 1272/2008 [CLP] and amendments	SCL / M-Factor	Nanoform Particle Characteristics
Not Available	100	6-Propyl- 2-thiouracil	Not Applicable	Not Applicable	Not Available

Legend: 1. Classified by Chemwatch; 2. Classification drawn from Regulation (EU) No 1272/2008 - Annex VI; 3. Classification drawn from C&L; * EU IOELVs available; [e] Substance identified as having endocrine disrupting properties

3.2. Mixtures

See 'Information on ingredients' in section 3.1

Continued...

SECTION 4 First aid measures

4.1. Description of first aid measures

Eye Contact	If this product comes in contact with eyes: ▶ Wash out immediately with water. ▶ If irritation continues, seek medical attention. ▶ Removal of contact lenses after an eye injury should only be undertaken by skilled personnel.
Skin Contact	If skin or hair contact occurs: ▶ Flush skin and hair with running water (and soap if available). ▶ Seek medical attention in event of irritation.
Inhalation	▶ If fumes, aerosols or combustion products are inhaled remove from contaminated area. ▶ Other measures are usually unnecessary.
Ingestion	▶ Immediately give a glass of water. ▶ First aid is not generally required. If in doubt, contact a Poisons Information Centre or a doctor.

4.2 Most important symptoms and effects, both acute and delayed

See Section 11

4.3. Indication of any immediate medical attention and special treatment needed

Treat symptomatically.

SECTION 5 Firefighting measures

5.1. Extinguishing media

- ▶ Foam.
- ▶ Dry chemical powder.
- ▶ BCF (where regulations permit).
- ▶ Carbon dioxide.
- ▶ Water spray or fog - Large fires only.

5.2. Special hazards arising from the substrate or mixture

Fire Incompatibility	None known.
-----------------------------	-------------

5.3. Advice for firefighters

Fire Fighting	<ul style="list-style-type: none">▶ Alert Fire Brigade and tell them location and nature of hazard.▶ Wear breathing apparatus plus protective gloves.▶ Prevent, by any means available, spillage from entering drains or water courses.▶ Use water delivered as a fine spray to control fire and cool adjacent area.▶ DO NOT approach containers suspected to be hot.▶ Cool fire exposed containers with water spray from a protected location.▶ If safe to do so, remove containers from path of fire.▶ Equipment should be thoroughly decontaminated after use.
Fire/Explosion Hazard	Combustible. Will burn if ignited.

SECTION 6 Accidental release measures

6.1. Personal precautions, protective equipment and emergency procedures

See section 8

6.2. Environmental precautions

See section 12

6.3. Methods and material for containment and cleaning up

Minor Spills	<ul style="list-style-type: none">▶ Clean up all spills immediately.▶ Avoid contact with skin and eyes.▶ Wear impervious gloves and safety glasses.▶ Use dry clean up procedures and avoid generating dust.▶ Vacuum up (consider explosion-proof machines designed to be grounded during storage and use).▶ Do NOT use air hoses for cleaning▶ Place spilled material in clean, dry, sealable, labelled container.
---------------------	--

Continued...

Major Spills	<ul style="list-style-type: none"> ▸ Clear area of personnel and move upwind. ▸ Alert Fire Brigade and tell them location and nature of hazard. ▸ Control personal contact with the substance, by using protective equipment and dust respirator. ▸ Prevent spillage from entering drains, sewers or water courses. ▸ Avoid generating dust. ▸ Sweep, shovel up. Recover product wherever possible. ▸ Put residues in labelled plastic bags or other containers for disposal. ▸ If contamination of drains or waterways occurs, advise emergency services.
---------------------	--

6.4. Reference to other sections

Personal Protective Equipment advice is contained in Section 8 of the SDS.

SECTION 7 Handling and storage

7.1. Precautions for safe handling

Safe handling	<ul style="list-style-type: none"> ▸ Limit all unnecessary personal contact. ▸ Wear protective clothing when risk of exposure occurs. ▸ Use in a well-ventilated area. ▸ Avoid contact with incompatible materials. ▸ When handling, DO NOT eat, drink or smoke. ▸ Keep containers securely sealed when not in use. ▸ Avoid physical damage to containers. ▸ Always wash hands with soap and water after handling. ▸ Work clothes should be laundered separately. ▸ Use good occupational work practice. ▸ Observe manufacturer's storage and handling recommendations contained within this SDS. ▸ Atmosphere should be regularly checked against established exposure standards to ensure safe working conditions are maintained.
Fire and explosion protection	<p>See section 5</p>
Other information	<ul style="list-style-type: none"> ▸ Store in original containers. ▸ Keep containers securely sealed. ▸ Store in a cool, dry area protected from environmental extremes. ▸ Store away from incompatible materials and foodstuff containers. ▸ Protect containers against physical damage and check regularly for leaks. ▸ Observe manufacturer's storage and handling recommendations contained within this SDS. <p>For major quantities:</p> <ul style="list-style-type: none"> ▸ Consider storage in bunded areas - ensure storage areas are isolated from sources of community water (including stormwater, ground water, lakes and streams). ▸ Ensure that accidental discharge to air or water is the subject of a contingency disaster management plan; this may require consultation with local authorities.

7.2. Conditions for safe storage, including any incompatibilities

Suitable container	<ul style="list-style-type: none"> ▸ Lined metal can, lined metal pail/ can. ▸ Plastic pail. ▸ Polyliner drum. ▸ Packing as recommended by manufacturer. ▸ Check all containers are clearly labelled and free from leaks.
Storage incompatibility	<p>Avoid contamination of water, foodstuffs, feed or seed. None known</p>
Hazard categories in accordance with Regulation (EC) No 1272/2008	<p>Not Available</p>
Qualifying quantity (tonnes) of dangerous substances as referred to in Article 3(10) for the application of	<p>Not Available</p>

7.3. Specific end use(s)

See section 1.2

Continued...

SECTION 8 Exposure controls / personal protection

8.1. Control parameters

Ingredient	DNELs Exposure Pattern Worker	PNECs Compartment
Not Available	Not Available	Not Available

* Values for General Population

Occupational Exposure Limits (OEL)

INGREDIENT DATA

Source	Ingredient	Material name	TWA	STEL	Peak	Notes
Not Available						

Not Applicable

Emergency Limits

Ingredient	TEEL-1	TEEL-2	TEEL-3
6-Propyl-2-thiouracil	Not Available	Not Available	Not Available

Ingredient	Original IDLH	Revised IDLH
6-Propyl-2-thiouracil	Not Available	Not Available

8.2. Exposure controls

Engineering controls are used to remove a hazard or place a barrier between the worker and the hazard. Well-designed engineering controls can be highly effective in protecting workers and will typically be independent of worker interactions to provide this high level of protection.

The basic types of engineering controls are:

Process controls which involve changing the way a job activity or process is done to reduce the risk.

Enclosure and/or isolation of emission source which keeps a selected hazard "physically" away from the worker and ventilation that strategically "adds" and "removes" air in the work environment. Ventilation can remove or dilute an air contaminant if designed properly. The design of a ventilation system must match the particular process and chemical or contaminant in use. Employers may need to use multiple types of controls to prevent employee overexposure.

- Local exhaust ventilation is required where solids are handled as powders or crystals; even when particulates are relatively large, a certain proportion will be powdered by mutual friction.
- Exhaust ventilation should be designed to prevent accumulation and recirculation of particulates in the workplace.
- If in spite of local exhaust an adverse concentration of the substance in air could occur, respiratory protection should be considered. Such protection might consist of:
 - (a): particle dust respirators, if necessary, combined with an absorption cartridge;
 - (b): filter respirators with absorption cartridge or canister of the right type;
 - (c): fresh-air hoods or masks
 - Build-up of electrostatic charge on the dust particle, may be prevented by bonding and grounding.
 - Powder handling equipment such as dust collectors, dryers and mills may require additional protection measures such as explosion venting.

Air contaminants generated in the workplace possess varying "escape" velocities which, in turn, determine the "capture velocities" of fresh circulating air required to efficiently remove the contaminant.

8.2.1. Appropriate engineering controls

Type of Contaminant:	Air Speed:
direct spray, spray painting in shallow booths, drum filling, conveyer loading, crusher dusts, gas discharge (active generation into zone of rapid air motion)	1-2.5 m/s (200-500 ft/min)
grinding, abrasive blasting, tumbling, high speed wheel generated dusts (released at high initial velocity into zone of very high rapid air motion).	2.5-10 m/s (500-2000 ft/min)

Within each range the appropriate value depends on:

Lower end of the range	Upper end of the range
1: Room air currents minimal or favourable to capture	1: Disturbing room air currents
2: Contaminants of low toxicity or of nuisance value only	2: Contaminants of high toxicity
3: Intermittent, low production.	3: High production, heavy use
4: Large hood or large air mass in motion	4: Small hood-local control only

Simple theory shows that air velocity falls rapidly with distance away from the opening of a simple extraction pipe. Velocity generally decreases with the square of distance from the extraction point (in simple cases). Therefore the air speed at the extraction point should be adjusted, accordingly, after reference to distance from the contaminating source. The air velocity at the extraction fan, for example, should be a minimum of 4-10 m/s (800-2000 ft/min) for extraction of crusher dusts generated 2 metres distant from the extraction point. Other mechanical considerations, producing performance deficits within the extraction

Continued...

	apparatus, make it essential that theoretical air velocities are multiplied by factors of 10 or more when extraction systems are installed or used.
8.2.2. Individual protection measures, such as personal protective equipment	    
Eye and face protection	<ul style="list-style-type: none"> ▸ Safety glasses with side shields ▸ Chemical goggles. [AS/NZS 1337.1, EN166 or national equivalent] ▸ Contact lenses may pose a special hazard; soft contact lenses may absorb and concentrate irritants. A written policy document, describing the wearing of lenses or restrictions on use, should be created for each workplace or task. This should include a review of lens absorption and adsorption for the class of chemicals in use and an account of injury experience. Medical and first-aid personnel should be trained in their removal and suitable equipment should be readily available. In the event of chemical exposure, begin eye irrigation immediately and remove contact lens as soon as practicable. Lens should be removed at the first signs of eye redness or irritation - lens should be removed in a clean environment only after workers have washed hands thoroughly. [CDC NIOSH Current Intelligence Bulletin 59].
Skin protection	See Hand protection below
Hands/feet protection	<p>The selection of suitable gloves does not only depend on the material, but also on further marks of quality which vary from manufacturer to manufacturer. Where the chemical is a preparation of several substances, the resistance of the glove material can not be calculated in advance and has therefore to be checked prior to the application.</p> <p>The exact break through time for substances has to be obtained from the manufacturer of the protective gloves and has to be observed when making a final choice.</p> <p>Personal hygiene is a key element of effective hand care. Gloves must only be worn on clean hands. After using gloves, hands should be washed and dried thoroughly. Application of a non-perfumed moisturiser is recommended.</p> <p>Suitability and durability of glove type is dependent on usage. Important factors in the selection of gloves include:</p> <ul style="list-style-type: none"> · frequency and duration of contact, · chemical resistance of glove material, · glove thickness and · dexterity <p>Select gloves tested to a relevant standard (e.g. Europe EN 374, US F739, AS/NZS 2161.1 or national equivalent).</p> <ul style="list-style-type: none"> · When prolonged or frequently repeated contact may occur, a glove with a protection class of 5 or higher (breakthrough time greater than 240 minutes according to EN 374, AS/NZS 2161.10.1 or national equivalent) is recommended. · When only brief contact is expected, a glove with a protection class of 3 or higher (breakthrough time greater than 60 minutes according to EN 374, AS/NZS 2161.10.1 or national equivalent) is recommended. · Some glove polymer types are less affected by movement and this should be taken into account when considering gloves for long-term use. · Contaminated gloves should be replaced. <p>As defined in ASTM F-739-96 in any application, gloves are rated as:</p> <ul style="list-style-type: none"> · Excellent when breakthrough time > 480 min · Good when breakthrough time > 20 min · Fair when breakthrough time < 20 min · Poor when glove material degrades <p>For general applications, gloves with a thickness typically greater than 0.35 mm, are recommended.</p> <p>It should be emphasised that glove thickness is not necessarily a good predictor of glove resistance to a specific chemical, as the permeation efficiency of the glove will be dependent on the exact composition of the glove material. Therefore, glove selection should also be based on consideration of the task requirements and knowledge of breakthrough times.</p> <p>Glove thickness may also vary depending on the glove manufacturer, the glove type and the glove model. Therefore, the manufacturers technical data should always be taken into account to ensure selection of the most appropriate glove for the task.</p> <p>Note: Depending on the activity being conducted, gloves of varying thickness may be required for specific tasks. For example:</p> <ul style="list-style-type: none"> · Thinner gloves (down to 0.1 mm or less) may be required where a high degree of manual dexterity is needed. However, these gloves are only likely to give short duration protection and would normally be just for single use applications, then disposed of. · Thicker gloves (up to 3 mm or more) may be required where there is a mechanical (as well as a chemical) risk i.e. where there is abrasion or puncture potential <p>Gloves must only be worn on clean hands. After using gloves, hands should be washed and dried thoroughly. Application of a non-perfumed moisturiser is recommended.</p> <p>Experience indicates that the following polymers are suitable as glove materials for protection against undissolved, dry solids, where abrasive particles are not present.</p> <ul style="list-style-type: none"> ▸ polychloroprene. ▸ nitrile rubber. ▸ butyl rubber. ▸ fluorocarbon. ▸ polyvinyl chloride. <p>Gloves should be examined for wear and/ or degradation constantly.</p>
Body protection	See Other protection below
Other protection	<p>No special equipment needed when handling small quantities.</p> <p>OTHERWISE:</p> <ul style="list-style-type: none"> ▸ Overalls. ▸ Barrier cream. ▸ Eyewash unit.

Respiratory protection

Type -P Filter of sufficient capacity. (AS/NZS 1716 & 1715, EN 143:2000 & 149:2001, ANSI Z88 or national equivalent)

Required Minimum Protection Factor	Half-Face Respirator	Full-Face Respirator	Powered Air Respirator
up to 10 x ES	P1 Air-line*	- -	PAPR-P1 -
up to 50 x ES	Air-line**	P2	PAPR-P2
up to 100 x ES	-	P3	-
		Air-line*	-
100+ x ES	-	Air-line**	PAPR-P3

* - Negative pressure demand ** - Continuous flow

A(All classes) = Organic vapours, B AUS or B1 = Acid gasses, B2 = Acid gas or hydrogen cyanide(HCN), B3 = Acid gas or hydrogen cyanide(HCN), E = Sulfur dioxide(SO₂), G = Agricultural chemicals, K = Ammonia(NH₃), Hg = Mercury, NO = Oxides of nitrogen, MB = Methyl bromide, AX = Low boiling point organic compounds(below 65 degC)

- Respirators may be necessary when engineering and administrative controls do not adequately prevent exposures.
- The decision to use respiratory protection should be based on professional judgment that takes into account toxicity information, exposure measurement data, and frequency and likelihood of the worker's exposure - ensure users are not subject to high thermal loads which may result in heat stress or distress due to personal protective equipment (powered, positive flow, full face apparatus may be an option).
- Published occupational exposure limits, where they exist, will assist in determining the adequacy of the selected respiratory protection. These may be government mandated or vendor recommended.
- Certified respirators will be useful for protecting workers from inhalation of particulates when properly selected and fit tested as part of a complete respiratory protection program.
- Where protection from nuisance levels of dusts are desired, use type N95 (US) or type P1 (EN143) dust masks. Use respirators and components tested and approved under appropriate government standards such as NIOSH (US) or CEN (EU)
- Use approved positive flow mask if significant quantities of dust becomes airborne.
- Try to avoid creating dust conditions.

8.2.3. Environmental exposure controls

See section 12

SECTION 9 Physical and chemical properties

9.1. Information on basic physical and chemical properties

Appearance	White		
Physical state	Solid	Relative density (Water = 1)	Not Available
Odour	Not Available	Partition coefficient n-octanol / water	Not Available
Odour threshold	Not Available	Auto-ignition temperature (°C)	Not Available
pH (as supplied)	Not Available	Decomposition temperature (°C)	Not Available
Melting point / freezing point (°C)	218-220	Viscosity (cSt)	Not Available
Initial boiling point and boiling range (°C)	Not Available	Molecular weight (g/mol)	Not Available
Flash point (°C)	300	Taste	Not Available
Evaporation rate	Not Available	Explosive properties	Not Available
Flammability	Not Applicable	Oxidising properties	Not Available
Upper Explosive Limit (%)	Not Available	Surface Tension (dyn/cm or mN/m)	Not Applicable
Lower Explosive Limit (%)	Not Available	Volatile Component (%vol)	Not Available
Vapour pressure (kPa)	Not Available	Gas group	Not Available
Solubility in water	Partly miscible	pH as a solution (1%)	Not Available
Vapour density (Air = 1)	Not Available	VOC g/L	Not Available
Nanoform Solubility	Not Available	Nanoform Particle Characteristics	Not Available

Continued...

Particle Size Not Available

9.2. Other information

Not Available

SECTION 10 Stability and reactivity

10.1. Reactivity	See section 7.2
10.2. Chemical stability	Product is considered stable and hazardous polymerisation will not occur.
10.3. Possibility of hazardous reactions	See section 7.2
10.4. Conditions to avoid	See section 7.2
10.5. Incompatible materials	See section 7.2
10.6. Hazardous decomposition products	See section 5.3

SECTION 11 Toxicological information

11.1. Information on hazard classes as defined in Regulation (EC) No 1272/2008 Information on toxicological effects

Inhaled	The material is not thought to produce adverse health effects or irritation of the respiratory tract (as classified by EC Directives using animal models). Nevertheless, good hygiene practice requires that exposure be kept to a minimum and that suitable control measures be used in an occupational setting.
Ingestion	The material has NOT been classified by EC Directives or other classification systems as "harmful by ingestion". This is because of the lack of corroborating animal or human evidence.
Skin Contact	The material is not thought to produce adverse health effects or skin irritation following contact (as classified by EC Directives using animal models). Nevertheless, good hygiene practice requires that exposure be kept to a minimum and that suitable gloves be used in an occupational setting.
Eye	Although the material is not thought to be an irritant (as classified by EC Directives), direct contact with the eye may cause transient discomfort characterised by tearing or conjunctival redness (as with windburn). Slight abrasive damage may also result.
Chronic	Long-term exposure to the product is not thought to produce chronic effects adverse to the health (as classified by EC Directives using animal models); nevertheless exposure by all routes should be minimised as a matter of course.

6-Propyl-2-thiouracil	TOXICITY	IRRITATION
	Oral (Rat) LD50: 1250 mg/kg ^[2]	Not Available
Legend:	1. Value obtained from Europe ECHA Registered Substances - Acute toxicity 2. Value obtained from manufacturer's SDS. Unless otherwise specified data extracted from RTECS - Register of Toxic Effect of chemical Substances	

Acute Toxicity	✓	Carcinogenicity	✓
Skin Irritation/Corrosion	✗	Reproductivity	✗
Serious Eye Damage/Irritation	✗	STOT - Single Exposure	✗
Respiratory or Skin sensitisation	✗	STOT - Repeated Exposure	✓
Mutagenicity	✗	Aspiration Hazard	✗

Legend: ✗ – Data either not available or does not fill the criteria for classification
✓ – Data available to make classification

11.2 Information on other hazards

11.2.1. Endocrine disrupting properties

No evidence of endocrine disrupting properties were found in the current literature.

11.2.2. Other information

See Section 11.1

SECTION 12 Ecological information

Continued...

12.1. Toxicity

6-Propyl-2-thiouracil	Endpoint	Test Duration (hr)	Species	Value	Source
	BCF	672h	Fish	<2<4	7
	NOEC(ECx)	6h	Fish	0.1mg/l	4

Legend: Extracted from 1. IUCLID Toxicity Data 2. Europe ECHA Registered Substances - Ecotoxicological Information - Aquatic Toxicity 4. US EPA, Ecotox database - Aquatic Toxicity Data 5. ECETOC Aquatic Hazard Assessment Data 6. NITE (Japan) - Bioconcentration Data 7. METI (Japan) - Bioconcentration Data 8. Vendor Data

12.2. Persistence and degradability

Ingredient	Persistence: Water/Soil	Persistence: Air
	No Data available for all ingredients	No Data available for all ingredients

12.3. Bioaccumulative potential

Ingredient	Bioaccumulation
	No Data available for all ingredients

12.4. Mobility in soil

Ingredient	Mobility
	No Data available for all ingredients

12.5. Results of PBT and vPvB assessment

	P	B	T
Relevant available data	Not Available	Not Available	Not Available
PBT	✗	✗	✗
vPvB	✗	✗	✗
PBT Criteria fulfilled?	No		
vPvB	No		

12.6. Endocrine disrupting properties

No evidence of endocrine disrupting properties were found in the current literature.

12.7. Other adverse effects

No evidence of ozone depleting properties were found in the current literature.

SECTION 13 Disposal considerations

13.1. Waste treatment methods

Product / Packaging disposal	<ul style="list-style-type: none">▸ Recycle wherever possible.▸ Consult manufacturer for recycling options or consult local or regional waste management authority for disposal if no suitable treatment or disposal facility can be identified.▸ Dispose of by: burial in a land-fill specifically licensed to accept chemical and / or pharmaceutical wastes or Incineration in a licensed apparatus (after admixture with suitable combustible material)▸ Decontaminate empty containers. Observe all label safeguards until containers are cleaned and destroyed.
Waste treatment options	Not Available
Sewage disposal options	Not Available

SECTION 14 Transport information

Labels Required

Marine Pollutant	NO
HAZCHEM	Not Applicable

Land transport (ADR): NOT REGULATED FOR TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS

14.1. UN number or ID number	Not Applicable	
14.2. UN proper shipping name	Not Applicable	
14.3. Transport hazard class(es)	Class	Not Applicable
	Subsidiary risk	Not Applicable
14.4. Packing group	Not Applicable	
14.5. Environmental hazard	Not Applicable	
14.6. Special precautions for user	Hazard identification (Kemler)	Not Applicable
	Classification code	Not Applicable
	Hazard Label	Not Applicable
	Special provisions	Not Applicable
	Limited quantity	Not Applicable
	Tunnel Restriction Code	Not Applicable

Air transport (ICAO-IATA / DGR): NOT REGULATED FOR TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS

14.1. UN number	Not Applicable	
14.2. UN proper shipping name	Not Applicable	
14.3. Transport hazard class(es)	ICAO/IATA Class	Not Applicable
	ICAO / IATA Subrisk	Not Applicable
	ERG Code	Not Applicable
14.4. Packing group	Not Applicable	
14.5. Environmental hazard	Not Applicable	
14.6. Special precautions for user	Special provisions	Not Applicable
	Cargo Only Packing Instructions	Not Applicable
	Cargo Only Maximum Qty / Pack	Not Applicable
	Passenger and Cargo Packing Instructions	Not Applicable
	Passenger and Cargo Maximum Qty / Pack	Not Applicable
	Passenger and Cargo Limited Quantity Packing Instructions	Not Applicable
	Passenger and Cargo Limited Maximum Qty / Pack	Not Applicable

Sea transport (IMDG-Code / GGVSee): NOT REGULATED FOR TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS

14.1. UN number	Not Applicable	
14.2. UN proper shipping name	Not Applicable	
14.3. Transport hazard class(es)	IMDG Class	Not Applicable
	IMDG Subrisk	Not Applicable
14.4. Packing group	Not Applicable	
14.5. Environmental hazard	Not Applicable	
14.6. Special precautions for user	EMS Number	Not Applicable
	Special provisions	Not Applicable
	Limited Quantities	Not Applicable

Inland waterways transport (ADN): NOT REGULATED FOR TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS

Continued...

14.1. UN number	Not Applicable	
14.2. UN proper shipping name	Not Applicable	
14.3. Transport hazard class(es)	Not Applicable	Not Applicable
14.4. Packing group	Not Applicable	
14.5. Environmental hazard	Not Applicable	
14.6. Special precautions for user	Classification code Special provisions Limited quantity Equipment required Fire cones number	Not Applicable Not Applicable Not Applicable Not Applicable Not Applicable

14.7. Maritime transport in bulk according to IMO instruments

14.7.1. Transport in bulk according to Annex II of MARPOL and the IBC code

Not Applicable

14.7.2. Transport in bulk in accordance with MARPOL Annex V and the IMSBC Code

Product name	Group

14.7.3. Transport in bulk in accordance with the IGC Code

Product name	Ship Type

SECTION 15 Regulatory information

15.1. Safety, health and environmental regulations / legislation specific for the substance or mixture

This safety data sheet is in compliance with the following EU legislation and its adaptations - as far as applicable - : Directives 98/24/EC, - 92/85/EEC, - 94/33/EC, - 2008/98/EC, - 2010/75/EU; Commission Regulation (EU) 2020/878; Regulation (EC) No 1272/2008 as updated through ATPs.

Information according to 2012/18/EU (Seveso III):

Seveso Category	Not Available

15.2. Chemical safety assessment

For further information please look at the Chemical Safety Assessment and Exposure Scenarios prepared by your Supply Chain if available.

ECHA SUMMARY

Not Applicable

National Inventory Status

National Inventory	Status
Australia - AIIC / Australia Non-Industrial Use	Not Available
Canada - DSL	Not Available
Canada - NDSL	Not Available
China - IECSC	Not Available
Europe - EINEC / ELINCS / NLP	Not Available
Japan - ENCS	Not Available
Korea - KECA	Not Available
New Zealand - NZIoC	Not Available
Philippines - PICCS	Not Available
USA - TSCA	Not Available
Taiwan - TCSI	Not Available
Mexico - INSQ	Not Available

Continued...

National Inventory	Status
Vietnam - NCI	Not Available
Russia - FBEPH	Not Available
Legend:	<i>Yes = All CAS declared ingredients are on the inventory No = One or more of the CAS listed ingredients are not on the inventory. These ingredients may be exempt or will require registration.</i>

SECTION 16 Other information

Revision Date	16/09/2022
Initial Date	16/09/2022

Full text Risk and Hazard codes

Other information

Classification of the preparation and its individual components has drawn on official and authoritative sources as well as independent review by the Chemwatch Classification committee using available literature references.

The SDS is a Hazard Communication tool and should be used to assist in the Risk Assessment. Many factors determine whether the reported Hazards are Risks in the workplace or other settings. Risks may be determined by reference to Exposures Scenarios. Scale of use, frequency of use and current or available engineering controls must be considered.

For detailed advice on Personal Protective Equipment, refer to the following EU CEN Standards:
 EN 166 Personal eye-protection
 EN 340 Protective clothing
 EN 374 Protective gloves against chemicals and micro-organisms
 EN 13832 Footwear protecting against chemicals
 EN 133 Respiratory protective devices

Definitions and abbreviations

PC - TWA: Permissible Concentration-Time Weighted Average
 PC - STEL: Permissible Concentration-Short Term Exposure Limit
 IARC: International Agency for Research on Cancer
 ACGIH: American Conference of Governmental Industrial Hygienists
 STEL: Short Term Exposure Limit
 TEEL: Temporary Emergency Exposure Limit.
 IDLH: Immediately Dangerous to Life or Health Concentrations
 ES: Exposure Standard
 OSF: Odour Safety Factor
 NOAEL :No Observed Adverse Effect Level
 LOAEL: Lowest Observed Adverse Effect Level
 TLV: Threshold Limit Value
 LOD: Limit Of Detection
 OTV: Odour Threshold Value
 BCF: BioConcentration Factors
 BEI: Biological Exposure Index
 AIIC: Australian Inventory of Industrial Chemicals
 DSL: Domestic Substances List
 NDSL: Non-Domestic Substances List
 IECSC: Inventory of Existing Chemical Substance in China
 EINECS: European INventory of Existing Commercial chemical Substances
 ELINCS: European List of Notified Chemical Substances
 NLP: No-Longer Polymers
 ENCS: Existing and New Chemical Substances Inventory
 KECI: Korea Existing Chemicals Inventory
 NZIoC: New Zealand Inventory of Chemicals
 PICCS: Philippine Inventory of Chemicals and Chemical Substances
 TSCA: Toxic Substances Control Act
 TCSI: Taiwan Chemical Substance Inventory
 INSQ: Inventario Nacional de Sustancias Químicas
 NCI: National Chemical Inventory
 FBEPH: Russian Register of Potentially Hazardous Chemical and Biological Substances